

4 大学生の意識と行動

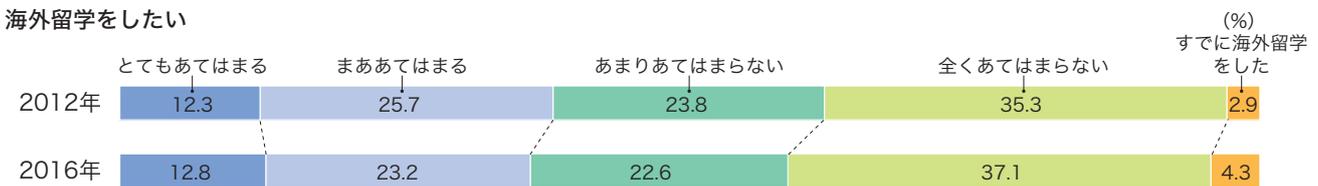
4-1 留学意向・グローバル意識

留学したい学生の割合に変化はないが、留学希望期間は長期化。

海外留学の意向についてみると、「海外留学をしたい(とても+まああてはまる+すでに海外留学をした)」と回答した学生は、2012年40.9%、2016年40.3%でほとんど変わらない。留学したい期間をみると、「1ヶ月未満」の短期が14.3ポイント減少し、「1ヶ月～6ヶ月以内」が増加している。留学したい時期は、4年間で変化はなく、2年生がもっとも多い。

Q あなたの在学中(大学・大学院)の海外留学の意向について、あてはまるもの1つをお選びください。在学中にすでに留学をした方は「すでに海外留学をした」を選択してください。

図4-1 留学意向



留学を希望する・経験した学生のみ回答

Q 留学の期間として、もっとも希望に近いもの1つをお選びください。(「すでに海外留学をした」と回答の方は、実際に留学した期間をお答えください。)

図4-2 留学期間

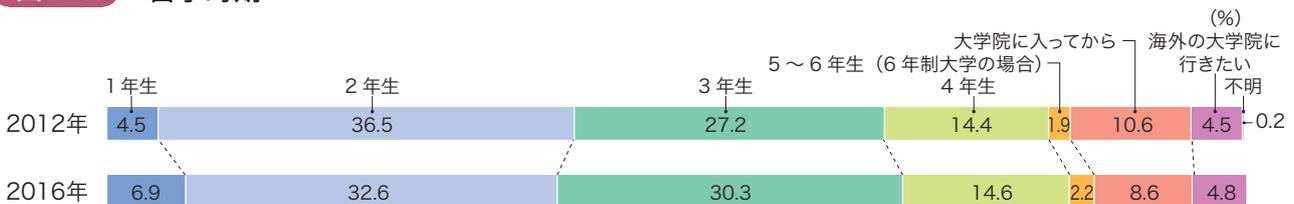


注) 「海外留学をしたい」に「とてもあてはまる」「まああてはまる」「すでに海外留学をした」と回答した者が対象。2012年n=2,009、2016年n=1,995。

留学を希望する・経験した学生のみ回答

Q 留学する時期として、もっとも希望に近いもの1つをお選びください。(「すでに海外留学をした」と回答の方は、実際に留学した時期をお答えください。)

図4-3 留学時期



注) 「海外留学をしたい」に「とてもあてはまる」「まああてはまる」「すでに海外留学をした」と回答した者が対象。2012年n=2,009、2016年n=1,995。

留学を希望しない理由は「経済的に難しい」が約5割、「海外生活が不安」約4割。

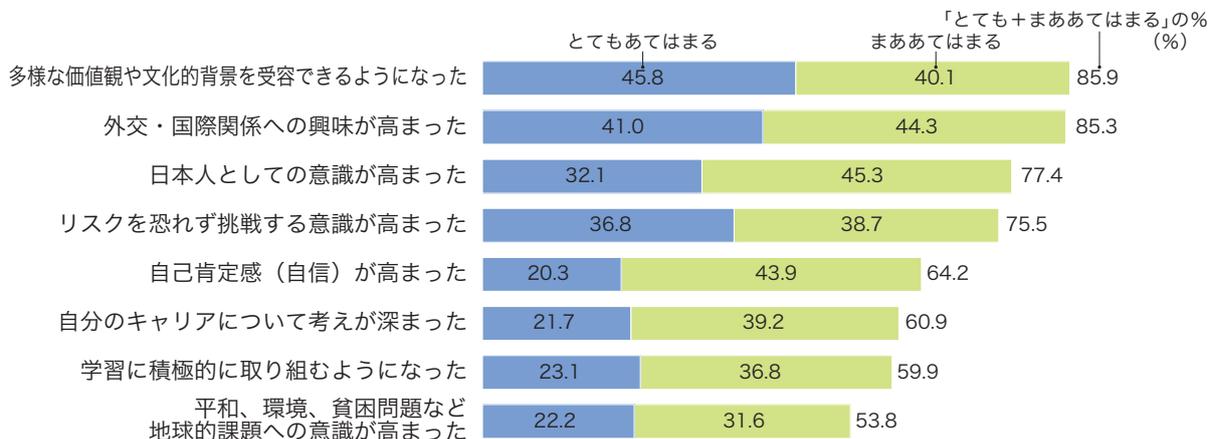
留学を経験した学生に、意識や行動の変化をたずねた結果をみると、「多様な価値観や文化的背景を受容できるようになった(とても+まああてはまる)」が85.9%、「外交・国際関係への興味が高まった(同)」が85.3%と高い。一方で、「学習に積極的に取り組むようになった(同)」は59.9%で、学習行動の変容は約6割にとどまった。また、留学を希望しない学生に、その理由をたずねた結果をみると、「経済的に難しいから」が48.1%でもっとも多い。「海外生活が不安だから」39.9%、「語学力に自信がないから」37.5%、「海外に興味がないから」37.1%といった理由も約4割存在する。

留学を経験した学生のみ回答



留学経験によりあなたの意識や行動に変化はありましたか。(2016年)

図4-4 留学の成果



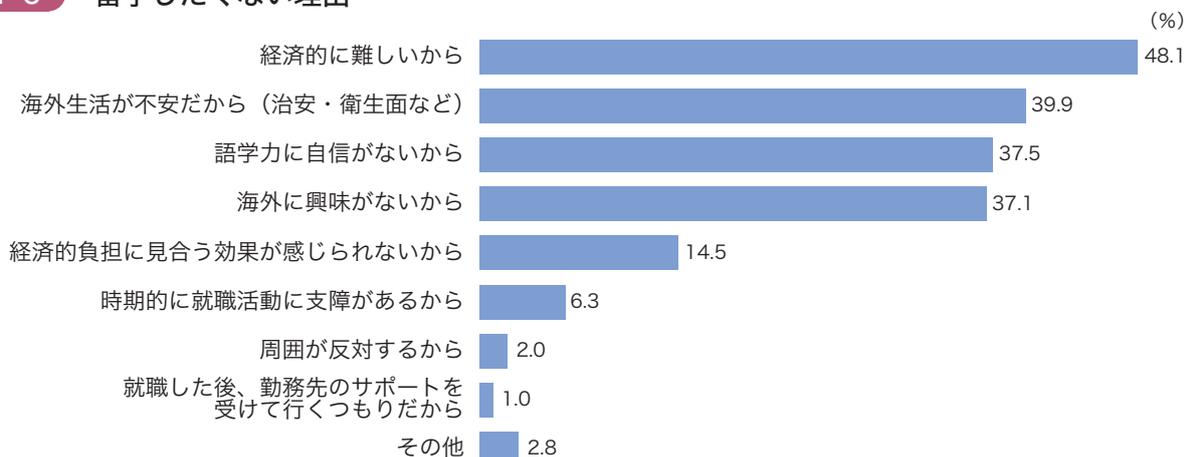
注)「すでに海外留学した」と回答した者が対象。n=212。

留学を希望しない学生のみ回答



あなたが留学したいと思わないのはなぜですか。(3つまで選択) (2016年)

図4-5 留学したくない理由



注)「海外留学をしたい」、「あまり+全くあてはまらない」と回答した者が対象。n=2,953。

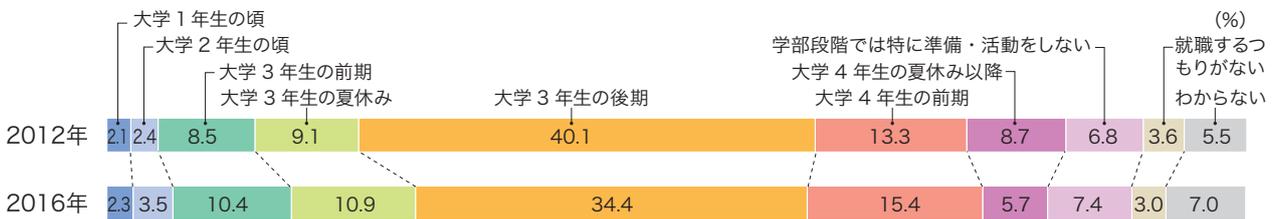
4-2 就職活動

4年前より進路に向けた活動を開始する時期が早まる。

4年生を対象に、卒業後の進路に向けた準備・活動をいつ頃から始めたかをみると、「大学3年生の夏休み以前」に開始した学生は2012年22.1%、2016年27.1%で4年前より5.0ポイント増加しており、進路を意識した活動を始める時期が、早まっている。進路の決定・検討状況をみると、「進路が決定(内定)している」は2008年67.2%、2012年56.8%と大幅な減少から一転し、2016年70.5%と8年前の水準に回復している。

Q 大学卒業後の進路（就職、大学院進学等を含む）に向けた準備・活動をいつ頃から始めようと考えていますか（あるいはいつ頃から始めましたか）。

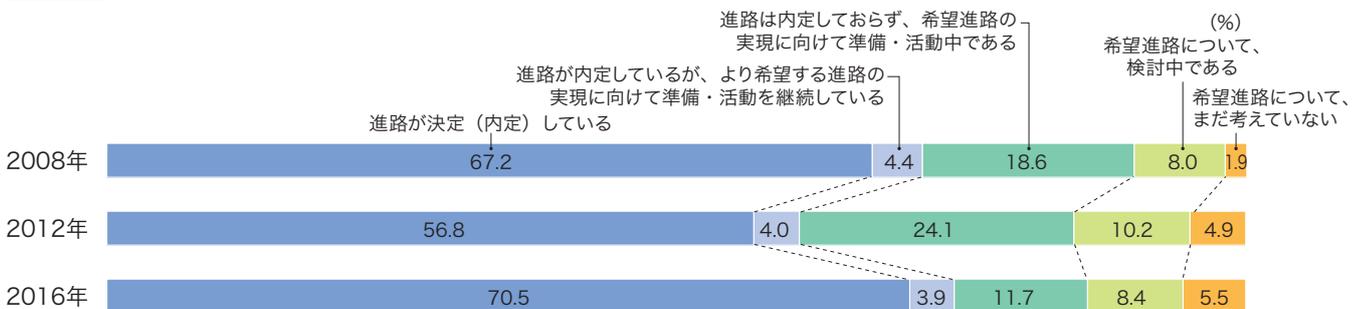
図4-6 就職活動



注) 大学4年生のデータのみ分析。2012年n=1,236、2016年n=1,237。

Q 大学卒業後の進路（就職、大学院進学等を含む）の決定・検討状況について、あてはまるもの1つをお選びください。

図4-7 内定状況



注) 大学4年生のデータのみ分析。2008年n=1,023、2012年n=1,236、2016年n=1,237。

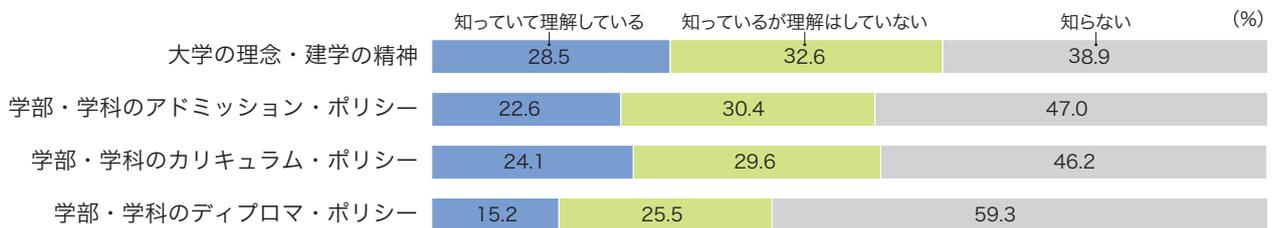
4-3 大学教育に対する理解・満足

大学生活に対する総合的な満足度が、8年間で低下。

大学の理念やポリシーに対する学生の認知、理解をみると、「大学の理念・建学の精神」については約4割、「3つのポリシー」については約5～6割が「知らない」と回答しており、認知、理解が十分であるとはいえない状況だ。学生の大学に対する満足度をみると、8年前よりいずれの項目においても低下傾向にある。とくにこの4年間で「大学生活を総合的に判断して(とても+まあ満足している)」回答してもらった満足度が12.1ポイント低下している。

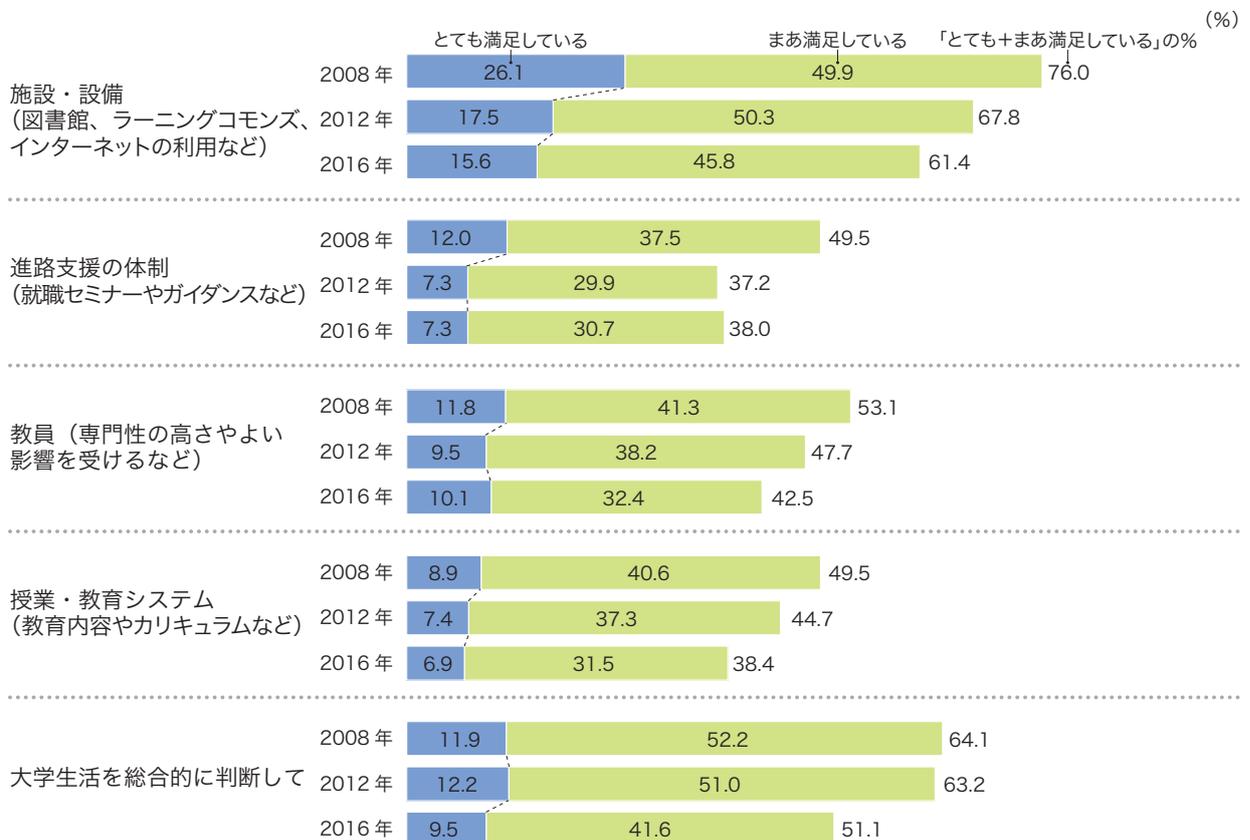
Q 現在通っている大学の理念についてどのくらい理解していますか。

図4-8 大学の精神、ポリシーの認知



Q 現在通っている大学について、どのくらい満足していますか。

図4-9 満足度



注) 全8項目のうち、他年度と比較可能な5項目を抜粋して表示。

4-4 学びの充実度・成長実感

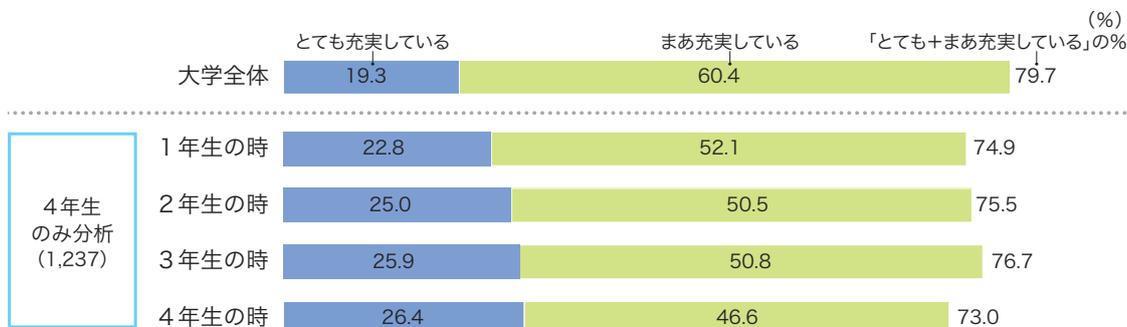
学びの充実度は学年で変わらないが、成長実感は学年が進むにつれ増加する。

4年生を対象に、各学年の学びの充実度をみると、「とても充実している」と回答する学生が学年が進むにつれ緩やかに増加するものの、「とても+まあ充実している」と回答する学生の割合は大きく変わらない。大学全体でみると約8割が充実していると回答している。次に、4年生を対象に、各学年の成長実感を見ると、「とても+まあ実感する」との回答が、1年生では6割弱であるのに対し、学年とともに増加し4年生では約8割になる。学年が進むにつれ成長を実感する経験を積んでいる様子が見えてくる。

Q

大学の各学年における学びの充実度について、あてはまるものを1つお選びください。(2016年)

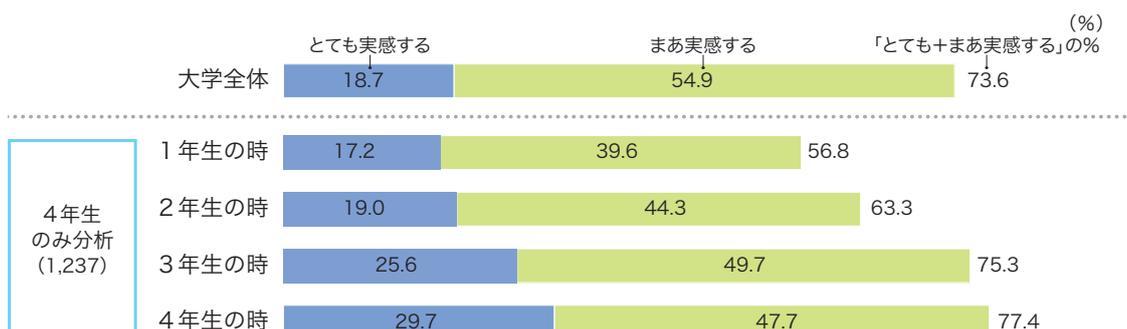
図4-10 学びの充実



Q

大学の各学年における成長実感について、あてはまるものを1つお選びください。(2016年)

図4-11 成長実感



4-5 困難への対処法

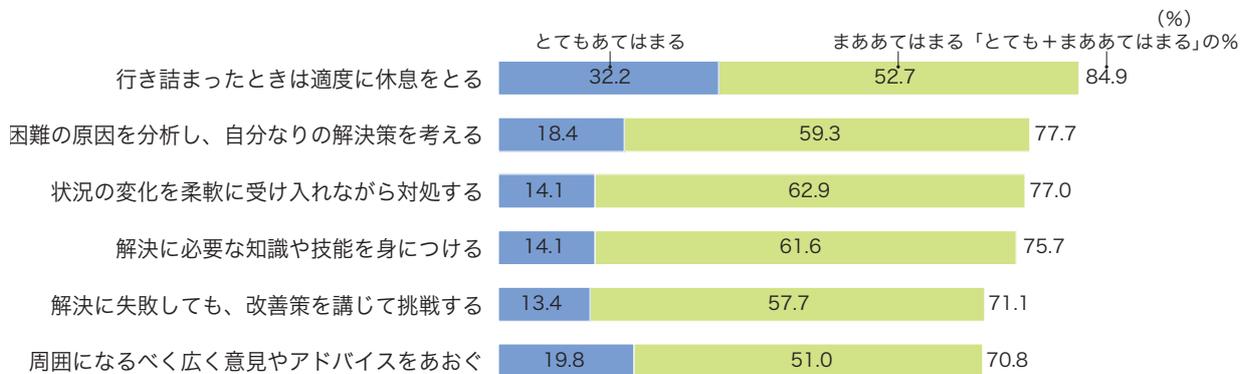
「行き詰まったときは適度に休息をとる」がもっとも多い。

困難への対処法では、「行き詰まったときは適度に休息をとる(とても+まああてはまる)」がもっとも多い。しかし、その他の解決策を示す項目(とても+まああてはまる)も約7~8割とあまり差がない結果となっている。解決策を講じながらも、適度な休息をとって行き詰まらないようバランスを取る姿がうかがえる。また、困ったことがあると「保護者が助けてくれる」か「自分で解決する」かをたずねた設問の回答(P.9 図2-7)別に困難への対処法をみた。いずれの項目にも差がなく、「保護者が助けてくれる」か「自分で解決する」かの考えの違いによって、困難への対処法は変わらないことがわかる。

Q

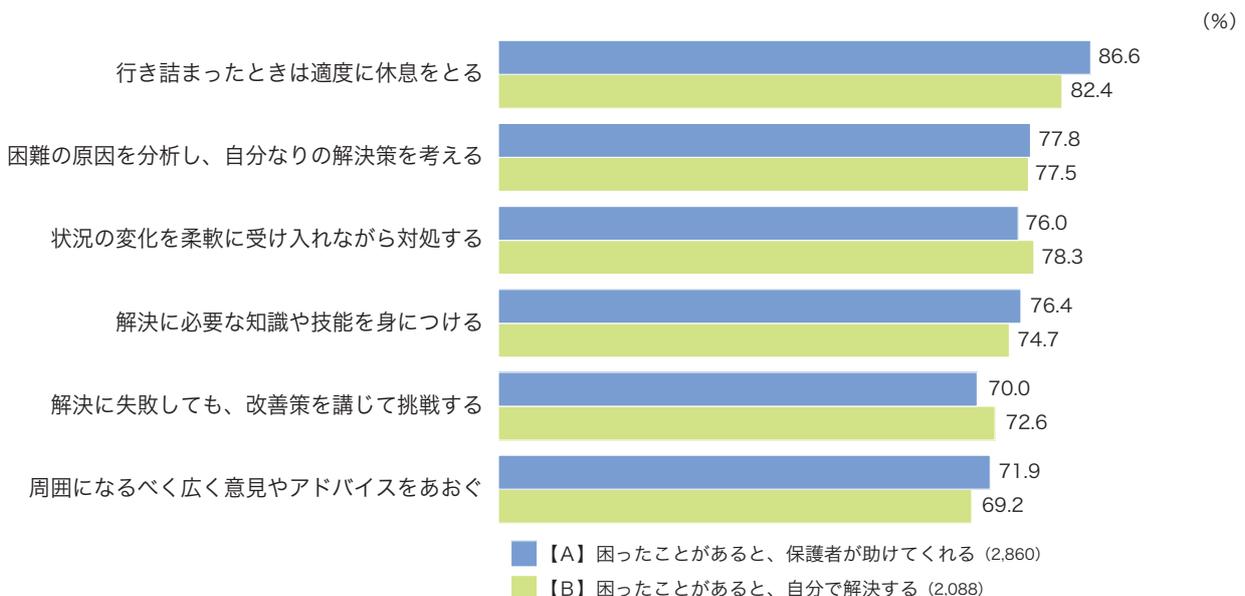
あなたは大学での学習や生活のなかで、困ったことに直面したとき、どのような行動をとっていますか。(2016年)

図4-12 困難への対処法



注)「とても+まああてはまる」の%。

図4-13 困難への対処法(保護者との関係別)



注1)「とても+まああてはまる」の%。

注2)「【A】困ったことがあると、保護者が助けてくれる」、「【B】困ったことがあると、自分で解決する」の2択に対し、「A」、「どちらかというとAに近い」と回答した群と、「B」、「どちらかというとBに近い」との回答した群にわけて集計した。

4-6 価値観

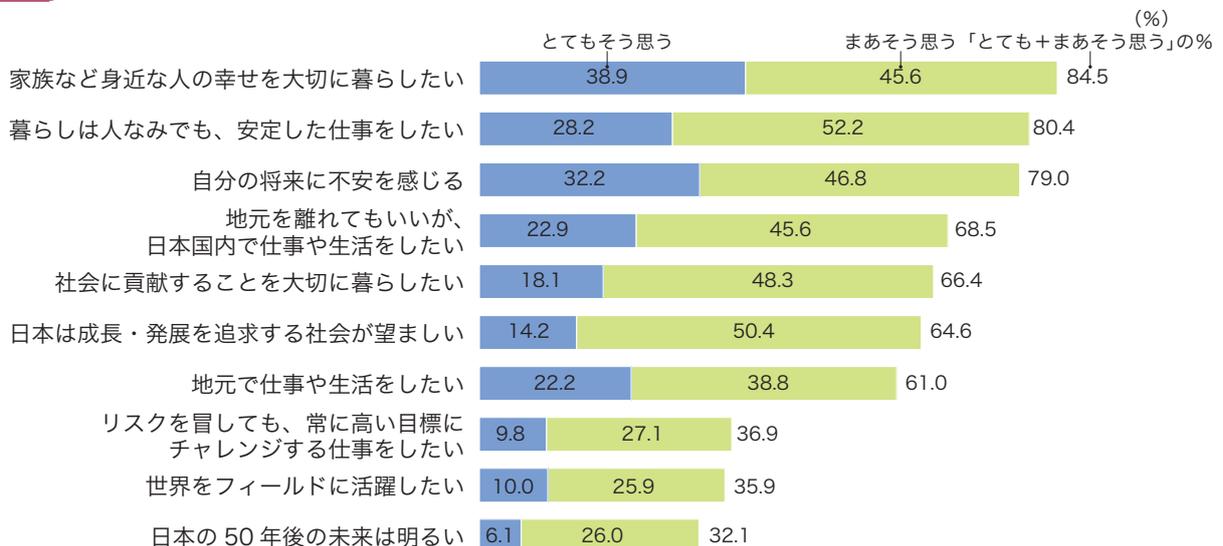
約8割が「自分の将来に不安を感じる」一方で、約7割が「過去と比較して現在は幸せ」と回答。

将来や就労に対する価値観をたずねた結果をみると、「家族など身近な人の幸せを大切に暮らしたい(とても+まあそう思う)」84.5%、「暮らしは人なみでも、安定した仕事をしたい(同)」80.4%で、身近で安定した幸せを求める回答が多い。また「自分の将来に不安を感じる(同)」79.0%と不安も大きい様子がわかる。幸福感をたずねた結果をみると、「ここ数年やってきたことを全体的に見て、幸せだ(同)」72.0%、「過去と比較して、現在の生活は幸せだ(同)」71.9%で、現状の生活に対しては幸福を感じている学生が多い。

Q

あなたは次のようなことについてどう思いますか。(2016年)

図4-14 社会・就労観

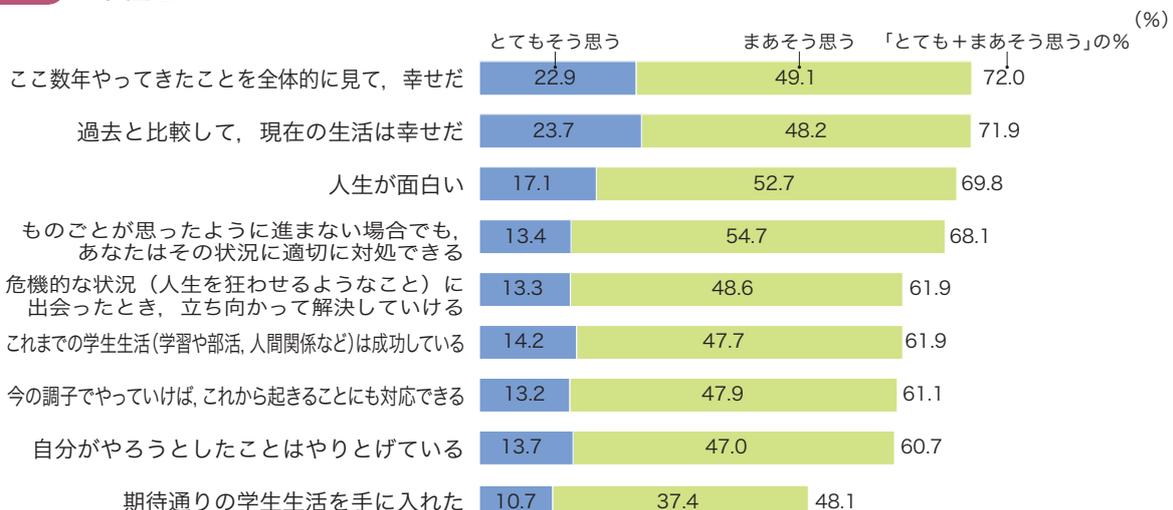


注)「とても+まあそう思う」の%。

Q

あなたは次のようなことについてどう思いますか。(2016年)

図4-15 幸福感



注)「とても+まあそう思う」の%。

4-7 投票行動

投票に行かなかった理由は、「住民票が居住地にないため」がもっとも多い。

これまでに投票に行った経験があるかどうかをたずねたところ、61.2%の学生が「ある(はい)」と回答した。「一人暮らし、寮」よりも「自宅」の学生のほうが、投票の経験が多いこともわかった。「ない(いいえ)」と回答した38.8%の学生に行かなかった理由をたずねたところ、「現在の居住地に住民票がなく、投票の場所が遠いため」が42.9%でもっとも多かった。

Q あなたは今までに、投票に行ったことがありますか。(2016年)

図4-16 投票経験の有無

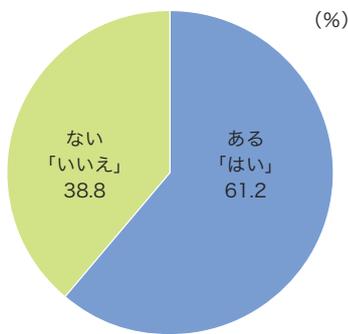
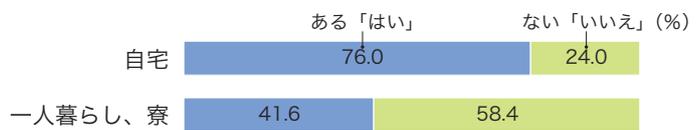


図4-17 投票経験の有無(住まい別)

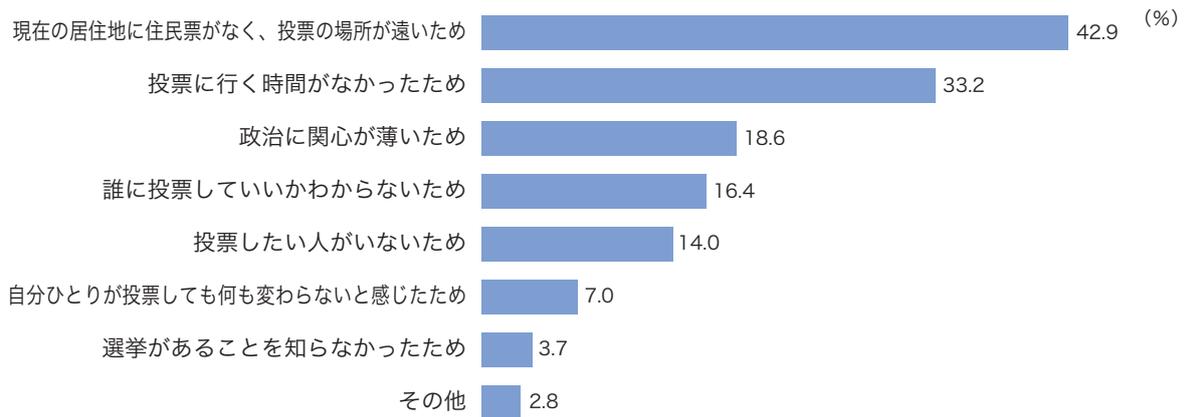


注1) 現在のお住まいをたずねる設問に、「自宅」と回答した者を「自宅」、「一人暮らし」、「大学の寮」、「大学以外の寮」と回答した者を「一人暮らし、寮」とする。「その他」と回答した者は、集計から除く。
注2) 自宅 n=2,792、一人暮らし、寮 n=2,061

「いいえ」と回答した人のみ回答

Q 投票に行かなかった理由について、あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答)

図4-18 投票に行かなかった理由



注) 「あなたは今までに、投票に行ったことがありますか」に、「いいえ」と回答した者が対象。n=1,919。